

三木駅の被災について

本年3月4日（日）に発生した火災による類焼で三木駅本駅舎が焼失した件につきまして、被災からダイヤ復旧までの経過や今後の取組（予定）等下記のとおりご報告いたします。

なお、今回の件では、沿線の内外を問わず、多くの皆さまから温かい励ましをいただいております。感謝申し上げますとともに、今後とも、安全で安定した運行の確保に努め、地域の暮らしを支える交通事業者として、その責務を果たしてまいりますので、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 被災前後の状況



焼失した本駅舎（西側）



焼失した本駅舎（南側）



焼失した本駅舎の内部



現在の状況

※ 焼失した本駅舎は、路線が三木駅まで開通した80年前に建築されたものでした。

2. 被災からダイヤ復旧までの経過

3月4日(日) 三木駅本駅舎焼失(火災発生18時過ぎ～鎮火23:12)、下りホーム使用中止

- ・志染駅～粟生駅 運転見合わせ
- ・JR神戸駅～粟生駅 振替輸送、志染駅～粟生駅 バス・タクシーによる代替輸送

3月5日(月)～3月6日(火) 照明・電気設備復旧、駅舎解体・駅務機器設置準備

- ・警察・消防による現場検証
- ・志染駅～粟生駅 臨時(朝夕減便)ダイヤによる運転
- ・JR神戸駅～粟生駅 振替輸送

3月7日(水)～3月8日(木) 駅舎解体、通路確保、駅務機器設置

- ・志染駅～粟生駅 臨時(朝夕減便)ダイヤによる運転

3月9日(金) 駅務機器動作確認、試験列車による安全性確認、下りホーム使用再開

- ・初発～9時台 志染駅～粟生駅 臨時(減便)ダイヤによる運転
- ・9時台～ 通常ダイヤに復旧
- ・15:14～ 三木駅下りホームの使用を再開、通常運行に復旧

3. 臨時ダイヤの影響

臨時ダイヤについては、別紙のとおり、神戸方面へ向かわれるお客様に大きな影響があったほか、高校生を中心として、家族によるマイカー送迎が増えるなどの影響があったとみております。

4. 今後の取組(予定)

駅舎の跡地については、これまで課題であった「賑わいづくりの創出」や「交通環境の改善」を図り、被災からの復興を粟生線の活性化、さらには路線の維持存続へとつなげていけるよう、三木市や兵庫県と連携し、利活用方策を検討してまいります。

以上

三木駅火災による不通・減便影響について(1日あたり/試算) ※不通・減便の期間は3月4日～3月9日の6日間

1. 志染～粟生間におけるご利用区間の増減(1日あたり)

単位:人

路線	降車駅					合計
	粟生線	有馬線	三田線	公園都市線	他社局	
粟生線	△ 336	△ 31	△ 9	1	△ 149	△ 524
有馬線	△ 44					
三田線	△ 6					
公園都市線	2					
他社局	△ 160					
合計	△ 544					

2. 上記をもとにした粟生線(志染～粟生間)の実利用者数

路線	実利用者
粟生線	△ 732

※期間中の合計は△4,392人(△732人×6日間)

3. 粟生線(志染～粟生間各駅)における乗降の状況

駅名	粟⇄粟	有⇒粟	粟⇒有	各駅計
志染	△ 99	75	70	46
恵比須	△ 87	△ 54	△ 44	△ 185
三木上の丸	△ 29	△ 8	△ 10	△ 47
三木	△ 104	△ 87	△ 75	△ 266
大村	△ 95	△ 13	△ 19	△ 127
檜山	△ 16	△ 12	△ 13	△ 41
市場	6	△ 8	△ 7	△ 9
小野	△ 151	△ 85	△ 78	△ 314
葉多	△ 12	△ 2	△ 2	△ 16
粟生	△ 90	△ 16	△ 16	△ 122

※ 粟⇄粟は、粟生線内(鈴蘭台～粟生間)での利用に伴い当該駅で乗降した人の数

※ 有⇒粟は、粟生線以外の駅で乗車し、当該駅で降車した人の数

※ 粟⇒有は、当該駅で乗車し、粟生線以外の駅で降車した人の数

【算定方法】

- (1) 火災の影響があった2018年3月4日～3月9日と前年同曜日の2017年3月5日～3月10日を比較し増減人数を算定。
- (2) 対前年同曜日比較では年間の増減トレンドが含まれるため2017年度と2016年度の増減人数を算定。
- (3) (1)で求めた人数から(2)で求めた人数を減算し、年間の増減トレンドを考慮した影響人数を算定。

以上